

10年後に安心して生活できる町をつくるために

4月より、町から委託を受け生活支援コーディネーターとなりました内藤明香です。

生活支援コーディネーターは「支え合い推進員」とも呼ばれます。地域の支え合いを推進していくために、日々活動をしています。



町区ふれあいネットワーク月1回お茶会の1コマ

また、独居高齢者のお宅への訪問も、生活支援コーディネーターの活動として行っています。最近の様子、困っていることなどを伺うために訪問しているのですが「久しぶりにおしゃべりして元気がもらえた」「大変だろうけどがんばって」など、逆に励まされることが多いです。



茂田井地域サロンの1コマ

これからも地域の様々な集まりにお邪魔させていただきたいと考えております。よろしくお願ひします。

新しい風(町長コラム) ⑳

米村匠人

今年7月1日から9月30日まで「世界級リゾートへ、ようこそ。山の信州」と銘打ち、繰り広げられた信州デステイネーションキャンペーンにより、白樺高原も多くの皆さんに訪れていただけたように思います。また昨年制定された「山の日」(8月11日)など、山へ誘う機会も増え、今後も多くの方々が、蓼科山、車山や八ヶ岳の山々に来てみたいと思うよう、初心者から上級者までそれぞれに楽しんでいただける工夫をしなければなりません。

私も春には雪の残る蓼科山の山頂で1泊し、雄大な自然と満天の星空に出会いました。最近では「信州山歩き地図」(信濃毎日新聞社)を参考に、八千穂高原の標高2100m以上に位置する「白駒池」から「高見石」を巡り、約2時間半の初級コースをトレッキングしてきました。原生林を苔のじゅうたんが一面を覆い、神秘的な景色に包まれ疲れも一気に吹き飛びました。

身近な自然を訪れて心も体もリフレッシュしました。

任期も半ば。折返し地点を迎え、初心を忘れることなくしっかり地に足をつけて、何事にもチャレンジしていきたいと改めて思っています。